

## 2 浄水施設と水系図

お客さまのご家庭に届ける水道水は、現在、市内11の浄水施設で作っています。



### 【浄水施設】

区分	施設名	(施設能力)	所在地	水源
上水道施設	平浄水場	(62,340m <sup>3</sup> /日)	平下平窪字寺前53番地	夏井川
	上野原浄水場	(35,900m <sup>3</sup> /日)	好間町上好間字上野原73番地の2	好間川
	泉浄水場	(30,000m <sup>3</sup> /日)	泉町六丁目10番地の16	鮫川
	山玉浄水場	(45,000m <sup>3</sup> /日)	山玉町脇川25番地	四時川／四時ダム
	法田第一ポンプ場	(10,240m <sup>3</sup> /日)	山田町西川原134番地の5	地下水
	法田第二ポンプ場	(20,000m <sup>3</sup> /日)		
簡易水道施設	川前浄水場	(210m <sup>3</sup> /日)	川前町川前字五林50番地の5	五林川
	上遠野浄水場	(880m <sup>3</sup> /日)	遠野町滝字内城55番地の1	鮫川
	鷹ノ巣浄水場	(180m <sup>3</sup> /日)	遠野町深山田字小石平122番地	上遠野川
	入遠野浄水場	(970m <sup>3</sup> /日)	遠野町入遠野字落合110番地の1	入遠野川
	旅人浄水場	(530m <sup>3</sup> /日)	田人町黒田字川崎77番地の2	地下水

## 主な浄水場の紹介

### 平浄水場



磐城小川江筋  
取水口(夏井川)▶



昭和49年(1974年)にいわき市北部および住宅団地等の開発が進む平地区と小名浜地区の中間地域へ給水するために建設した浄水場で、年々増加する水需要への対応などを目的として平成8年(1996年)に拡張工事を行い、いわき市で最も大きな浄水能力を有しています。

平浄水場は、上野原浄水場水系の管路と接続し、いわき市北部の配水調整を行う重要な役割を担っています。

主な給水地域である平地区の市街地東部を中心に、北は四倉地区、久之浜・大久地区、西は小川地区、南は平地区の豊間・中央台、常磐地区の若葉台、小名浜地区の市街地まで給水しています。

### 泉浄水場



鮫川堰用水路  
取水口(鮫川)▶



旧磐城市が、重要港湾の整備や臨海型工場の進出に伴って年々増加する水需要に対応するため、昭和39年(1964年)に建設した浄水場です。

主な給水地域は常磐地区ですが、小名浜地区の市街地や鹿島・玉川、平地区の中央台にも給水しています。

### 上野原浄水場



大滝江筋取水口  
(好間川)▶



旧平町が大正6年(1917年)に事業認可を受け、大正10年(1921年)に完成したいわき市で最初の浄水場です。その後、年々増加する水需要に対応するため数次にわたる拡張工事を行い、昭和62年(1987年)に現在の姿となりました。

主な給水地域は好間地区と内郷地区ですが、平地区と常磐地区の一部にも給水しています。

### 山玉浄水場



五箇村堰取水口  
(四時川)▶



旧勿来町が上水道創設にあわせて昭和29年(1954年)に建設し、旧勿来市全域に給水してきた浄水場です。その後、いわき市南部の水需要に対応するため拡張工事を行い、昭和52年(1977年)に現在の姿となりました。

山玉浄水場は、その後に拡張した法田ポンプ場や泉浄水場水系の管路と接続し、いわき市南部の配水調整を行う重要な役割を担っています。

主な給水地域は勿来地区ですが、平地区の中央台、小名浜地区の市街地や江名・泉・渡辺にも給水しています。